

下妻市定例教育委員会（令和 7 年 1 月 2 4 日）会議録

1. 開催日時	令和 7 年 1 月 2 4 日（金） 午後 3 時 0 0 分 開会 午後 4 時 0 4 分 閉会
2. 開催場所	下妻市役所 3 階 会議室 3 - 1
3. 出席委員	教 育 長 中山 均 教育長職務代理者 赤荻 由美 委 員 青木 明美 委 員 齊藤 修一 委 員 高野 剛
4. 委員以外 の出席者	教育部長 横瀬 哲彦 参事兼指導課長 圓崎 佳江 学校教育課長 國府田 聡 生涯学習課長 佐久間 秀樹 図書館兼公民館長 岡本 卓也 学校教育課補佐 板橋 孝子 学校教育課係長 高崎 みゆき 学校教育課係長 井上 朋子
5. 議事録 署名人	齊藤 修一委員
6. 協議事項 及び研修	（1） 諸般の報告について
7. 議事の 大要	議事の概要
発言者	発言内容
教育長	1 月の定例教育委員会を始めます。今回の議事録署名人は、齊藤委員さんをお願いします。最初に諸般の報告を、指導課から。
参事兼指導課長	【指導課から報告】 ○部活動の地域移行の取り組み状況について ・ 令和 4 年度の 9 月に検討委員会発足 ・ 令和 5 年度の 1 月に下妻市地域クラブ活動推進事業で、剣道部の休日の活動を地域の指導者による地域クラブ活動として運営を開始。剣道部以外の活動にも広がっていく。
教育長	学校教育課から。
学校教育課長	【学校教育課から報告】 ○下妻市立学校給食施設整備方針の決定について ・ 政策調整会議を経て、臨時庁議で決定 ・ 案に一部つけ加えた部分は、給食センターについては広域的な連携も視野に入れて検討していくという点を追加 ○市立小中学校の卒業式と入学式における来賓招待の見直しについて
教育長	生涯学習課から。
生涯学習課長	【生涯学習課から報告】 ○令和 7 年はたちのつどい YELL について ・ 参加者数 329 名（65%） ○第 5 4 回新春歩け歩け大会について ・ 参加者数 389 名 ○茨城県スポーツ少年団の令和 6 年度常総ブロック交流会について ○令和 6 年度第 71 回文化財防火デーに伴う消防訓練について

教育長	図書館公民館から。
図書館兼公民館長	<p>【公民館・図書館から報告】</p> <p>○第25回公民館まつりについて</p> <p>○令和7年度公民館教室について</p> <p>○図書館通信1月号について</p> <p>・読書マラソンについて</p> <p>○図書館のぬいぐるみお泊まり会について</p>
教育長	<p>委員の皆さんからご質問等何かございますか。</p> <p>私の方から、来年度の学校教育の重点施策についてお話します。来年はキャリア教育に重点を当てたいと思っています。地域貢献とか、町おこしとか、地域おこしとか、もっと広いところでの小中学生の活躍の場というのがあっていいのかなと思います、キャリア教育というところを充実させていきたいと思っています。校長先生方には、その提案もさせていただきました。小学校の地域学習、中学校の地域での体験等を意図的に、例えば、小貝川のフラワーフェスティバルやEボート大会、砂沼フェスティバルなど、そういう中で中学生が活躍できる場所を提供して、そこで地域貢献や、地域活動というのを展開し、学校の中では学べない広い意味での生きる力というのを育むことができるのかなと考えています。小学校については、それぞれの学校で地域の行事に関わっているというのがありますが、市のイベントとして、下妻の時代祭りに小学生が参加したり、あわせて、行列に参加するだけじゃなくて、地域学習をやって、そして地域や下妻市の成り立ちとか、多賀谷氏のことなどを学んだあとに、行列に参加する等の体験というのを考えています。小学3年生が地域学習を社会科でやりますので、そういう学習と絡めて展開できればと考えています。子供の姿で下妻を元気にしたいなという思いもあります。</p> <p>では、委員の皆さんからのご意見を。赤荻委員さん。</p>
赤荻教育長職務代理者	質問ですが、公民館教室受講生募集は、今までこの講座に参加されてる方は、1回やめられて、また再び登録するという形ですか、それとも継続してやりたいという方はそのままずっと継続してやっていただけるという形なんでしょうか。
図書館兼公民館長	1回ごとに更新という形で、申込書はとっております。継続したい方は継続しております。基本的にはそういう形です。
赤荻教育長職務代理者	<p>できれば、新しい講座ができたなら、ニューとかというマークなどを付けてもらおうと、何かやりたいなと思ってる人が、新しい講座だと一から集まって始められるということがあるので、問合せとかも増えるかなと思います。</p> <p>また、生涯学習課で、1月中に開催されました、はたちのつどい、それから新春歩け歩け大会に参加いたしました。無事に終えられて良かったと思いました。両方の事業に参加させていただいて感じたことは、本当に人口減少というか、少子化を感じました。4年ぶりに、はたちのつどいの方に参加いたしましたが、前回は、文化会館で、すごく会場も埋まっているような、逆に圧倒されるような雰囲気があったんですけども、今回、会場が小さくて距離が近かったということもあるかと思うんですけども、少子化なんだなというのをしみじみ感じました。また歩け歩け大会の方は、毎年、参加させていただいてるんですが、以前は少年団のお子さんたちが、たくさん楽しそうに歩かれてる中を歩くのがすごい楽しみだったんですが、本当に少なくて、これも本当に少子化を感じた事業でした。</p> <p>また、先日、民生委員さんとの懇談会で、民生委員さんから、学校の先生で産休や育休やあるいは療養をされてる先生の、そこを担ってくれる先生がいないという学校がたくさんあるとラジオで聞いたが、どうですかというご質問された方がいました。それに対して校長先生、教頭先生が、下妻市の教育委員会は、本当にそういうところは、すごくフォローしてくれて、すぐに先生を見つけてくれたり、相談のってくれたりしていると話されていて、そういったことを聞いたのもとてもうれしかったです。</p>

教育長	ありがとうございます。やっぱり人不足は否めないですね。やっぱり年度途中で、例えば、産休に入ったり、育休に入ったり、そういう方の補充は、下妻市は何とか不足なくできている状況なんですけど、市町村によってはなかなか難しいところもあるようです。県にも、教育長会議で、そういう声を届けているんですが、改善はしてほしいなと思います。また、新しい制度でパパ育休がとれるようになったので、そこの対応も、いかにそこを補充できるかというのも課題になってくるかと思っています。定年も延長になっているので、60代、70代でも、人材を確保していくよう、アンテナを高くしていきたいと思っています。
齊藤委員	先生によっては、常勤じゃなくて、週に4日とか、時間的な勤務形態というか、今いろいろな形があるようですので、そういう人に対応するために、苦勞してる部分であると思うんですが。
教育長	今は下妻市は、市の会計年度任用職員で教員免許を持ってる方を、学習指導員という形で、どこの小学校にも、配置しています。そういう方を、県の講師として、育休補充等に充てられるよう確認しながら、市の職員として採用するということをやっています。では、青木委員さん。
青木委員	部活動の地域移行は、これはもう進めていかなくてはいけないことなんだと、今日改めて感じました。剣道部の子たちは、早めに決まった部活だったのでどんな感じかなと思ったら、成果を上げていて良かったなと思います。先ほど、先生が、本市なりの進め方を、ということですので、下妻にあったように進めていただければと思います。 それから、地域のところに子供たちをということですが、Eボートの行事や、商工まつりのときなど、また子供たちの姿が見られるんだったら、それも一つ、また楽しみになってくるなと感じてます。できることから、少しずつ子供たちも参加できると、学校以外で、張り合いを持ってできるんじゃないかなということ期待してます。
教育長	齊藤委員さん。
齊藤委員	卒業式入学式の対応なんですけど、我々は今までと同じ対応ですね。
学校教育課長	委員さんは、今まで同様、教育長と委員さんと連名で、メッセージを送っていたくということをお願いをしたいと思っております。また、地域の方については、卒業式からは、今、教育長からお話あったように、地域との関わりを強く意識して、これから地域と学校のつながりを深めていくということで、コミュニティースクール、こういった方々に出ていただくような形で、進めさせていただいております。
齊藤委員	わかりました。もう一つ、先ほどの報告の中で、図書館関係で、ぬいぐるみお泊まり会というのがありましたが、どのような発想なのか、その辺のお話をお聞きたいと思います。
図書館兼公民館長	職員が他の図書館でやっているのを参考にしました。ぬいぐるみを持ち合って、そして図書館でいろんな行事をやったり、最終的にはぬいぐるみを置いて、本人は帰るんですけど、そうするとぬいぐるみに対する愛着がありますので、それが図書館への愛着につながっていくという形、図書館を身近に感じていただく一つの手段としての行事という形になっております。最後に、ぬいぐるみと一緒に本を選んでいただいて、一緒に帰ることによって本も好きになってもらうきっかけとなればと考えています。やはり図書館に、いかに来てもらうかということ、いろいろ考えて、さまざまな行事をやっています。
教育長	高野委員さん。
高野委員	公民館教室受講生募集は、赤荻委員の方からもあったように、新しい講座には、新などと表記をつけた方が確かにいいと思います。あの講座は、メンバーが固定してしまっているとかになると、そういうのは新たに入りづらいなと思ってる方もいるかもしれませんので。やっぱり新しい講座となれば、最初からなんだと

	<p>ということで、新しい方も参加しやすいのかなという感じがします。簡単にできることなので、表記はつけたほうが良いと私も思います。</p> <p>それから、教員の人手不足ということですが、やはり一般的な感覚からいえば、世の中の流れ的には、もう定年は上がっていく方向だと思うんで、昔の定年の定義というのは、やっぱり若い人に道を譲るという意味もあったんだと思うんですが、今、若い人がいませんので、道を譲らずに後輩の指導に当たった方がよりいいんじゃないかなと感じています。教員だけでなく、人不足はこれから深刻になりますから、早いうちに手を打つのがいいんじゃないかと思っています。</p>
教育長	はい。ありがとうございます。定年が1年ずつのびて、65歳まで、長くなっていく制度で、ちょうど今、過渡期のところです。
教育長	では、その他、事務局からお願いします。
学校教育課長	<p>【事務局から連絡】</p> <p>○県西地方教育委員会連絡協議会の教育委員研修について</p> <p>○エスティーローダーでの英語体験（上妻小）について</p> <p>○次回の教育委員会の定例会の日程について</p>
教育長	以上で、定例の教育委員会を終了します。